



## 第200号発行記念特別号

第200号記念特別寄稿 .....	2～3
議会と町政のあゆみ .....	4～6
歴代議会広報編集委員名簿 .....	7
第2回定例会のあらまし .....	8～9
町政を問う！3人の議員が一般質問 ...	10～13

# 第200号記念特別寄稿



東京理科大学基礎工学部  
長万部教養 教養部長  
竹内 謙さん

「議会だより」で知る町と大学との関係  
「議会だより」第200号発刊おめでとう  
ございます。

長万部キャンパスも今年度で設立33年目となり、昭和、平成、令和の3つの時代に渡って全寮制全人教育を展開してきたことになり、これもひとえに、町のご支援、ご協力の賜物です。しかし、「議会だより」の歴史は、長万部キャンパスよりも遥かに長く、継続の力を見る思いであります。

私も長万部キャンパス赴任以来19年間「議会だより」を毎号読ませていただいておりましたが、本学にかかわる議事の多さに驚かされず。そして、それらを読むたびに、本学と町との関係性の深さに感銘を受ける一方で、心引き締まる思いをして参りました。

長万部キャンパスは、令和3年に大きな変化を迎えますが、町との関係はさらに強固になつていき、第300号記念特集号にも、未来の教養部長がコメントを寄せると思います。第300号に向けて、編集される皆様が一層ご活躍されますことを祈念申し上げます。



元町議会議長  
竹内 皎三さん

町民と議会の架け橋としての「議会だより」が、昭和48年創刊より数えて200号という大きな節目を迎えました。その間約半世紀に及ぶ長い間、歴代の委員と各関係者のたゆまぬ努力に心より敬意を表します。

全国的に地方自治体の脆弱化が進行している現在、我が町も例外ではありませんが、唯一、町再生の鍵とされる新幹線停車駅に係わるまちづくり計画案や、東京理科大との産学提携の深化等々、喫緊の課題として現在進行形で議論が深められつつあり、一縷の曙光として期待いたしております。

この様な大きな課題との取り組みは、独り行政の努力や議会の権能にのみ依存する事なく、町民も許される範囲内で積極的に参加する姿勢が肝要かと思われ、そのためにも各種議案に対する議会の論議の経緯等、詳細に町民に周知する必要があります。ますます「議会だより」の使命が増して参るものと思料されます。

民主主義は、広汎闊達な議論を重ねて力強く成熟していくものと信じておりますが、今後、「議会だより」の更なる充実とその衝に当たられる関係者諸兄の御精進を御期待いたしております。



元町議会議員  
佐藤 弘さん

「議会だより」第200号の発刊、まことにおめでとうございます。

「議会だより」は、議員活動の現状を町民の皆様にお知らせし、ご理解をいただく大きな役割がございます。私も議員在職四期の全任期中、議会広報編集委員として従事してきました。生来、文書編集に興味があり、進んで委員をお受けし、委員会開催が楽しみでした。特に問題なく円滑に従事することができて良かったと思っております。

いろいろな意見・提案があるようですが、参考にして議会広報づくりを進めてもらいたいと念願しています。

## 長万部町議会議長 辻 義雄



「議会だより」が第200号の記念すべき発刊を迎えられましたこと、誠に喜ばしく光栄に存じます。

昭和48年5月の創刊以来、定例会の状況など町議会の活動を町民の皆様幅広く知っていただくことを念頭に、今日までいただいた様々なご意見を踏まえ、また、広報編集特別委員会においても積極的に議論を重ねて読みやすい紙面づくりを心がけ、「議会だより」の発行に努めてまいりました。

近年ではインターネットを活用した情報発信が普及しておりますが、「議会だより」は町民の皆様が直接手に取って議会の活動をご覧いただけるという点においてより身近な存在であり、これからも町民と議会のパイプ役として中心的な役割を担って行くべきものと確信しております。

この第200号発刊を一つの通過点とし、よりよい「議会だより」となるようさらに研鑽けんさんを重ねてまいります。

今後とも、変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。

## 長万部町長 木幡 正志



昭和48年発刊以来46年の時を刻み、令和元年に「議会だより」第200号の発刊を迎えられましたこと、心からお慶びを申し上げます。第200号発刊まで携わった多くの編集委員の皆様のご努力に深甚なる敬意を表しますとともに、私も昭和62年から編集に携わった一人として感慨深い思いがあります。

町の将来にむけた基本施策等、町政の時代の変革を鋭敏に捉え、議会活動する議員各位の活動を時々刻々と伝える「議会だより」を発行し、議会・行政の動きを多くの町民の皆様へ届ける唯一の広報紙として重要な役割を担っているものと確信致しております。

行政を担う立場として、町政の円滑な推進のご理解をいただく方法として、重責を感じております。

議会だよりの紙面づくりにも読みやすい親しみやすい編集を心がけ、編集する奥深さと責任の重さを感じながら第200号を契機に更なる町民の指針となる「議会だより」の編集をご期待申し上げ、お祝いの言葉といたします。



## 議会広報編集特別委員会 委員長 長崎 厚

長万部町議会の「議会だより」は、今号で第200号の節目を迎えることができました。昭和48年5月の創刊以来、約半世紀にわたり、まちづくりや地方分権の推進、町村合併問題、行財政改革、人口減少や少子高齢化など、数々の問題や出来事に議会として議論を重ね、町民の皆様への幸せを追い求めてきた経過を紙面を通してお伝えしてまいりました。

「議会だより」は、議会活動を皆様に周知し理解を深めていただくため、年4回の発行を議員の手作りでこつこつと続けてきました。この度、第200号という数字を目の当たりにし、改めて先輩委員や同僚委員に敬意と感謝を申し上げます。また、「議会だより」を読んでいただいております皆様のご声援に支えられた賜物と心から感謝申し上げます。

今後、議会情報発信の重要性はますます高まってくるものと存じます。より一層読みやすく親しみやすい「議会だより」を目指し、様々な方法で議会情報をお伝えできるよう、委員一同努力してまいります。





平成7年8月第100号



昭和59年議会広報コンクール入賞

昭和59年3月	6月	昭和60年3月	昭和61年4月	昭和62年3月	昭和63年8月	平成元年4月	平成3年6月	平成4年1月	平成5年3月
静狩漁港完成 議会だより第49号が北海道町村議会広報コンクール入賞	議員定数調査特別委員会設置 台風13号により324世帯が浸水	議員定数調査特別委員会設置 長万部町まちづくり推進計画策定特別委員会設置 町議会議員定数を減少する条例可決 (22人↓20人)	長万部小学校新校舎開校	国鉄瀬棚線バス転換 東京理科大学長万部校舎開校 企業誘致対策特別委員会設置	長万部小学校プール完成	長万部町森林・林業・林産業活性化議員連盟結成	B&G財団長万部海洋センターオープン	公共下水道事業に関する審査特別委員会設置 双葉小学校新校舎開校 議員定数調査特別委員会設置 まちづくり総合計画審査特別委員会設置 北海道新幹線建設促進期成会議連結成 学習文化センターオープン 町議会議員定数を減少する条例可決 (20人↓18人)	企業誘致等対策特別委員会設置 7月12日南西沖地震(M7.8)発生

平成10年5月	平成11年2月	平成12年3月	平成13年3月	平成14年9月	平成15年3月
新役場庁舎完成 水産廃棄物リサイクル施設の設置及び管理に関する条例審査特別委員会設置 職員の不正事件解明調査特別委員会設置	町議会議員定数を減少する条例可決 (18人↓16人) 経済活性化等調査特別委員会設置 介護保険審査特別委員会設置	有珠山噴火による避難民受け入れ 消防庁舎建設等に関する調査特別委員会設置 大浜統合再生団地整備等に関する調査特別委員会設置 議会運営及び事務の効率化等に関する特別委員会設置 福祉センター改修等に関する調査特別委員会設置	蔵岱小学校閉校 高速自動車道国縫IC開通	長万部町議会議員定数等に関する調査特別委員会設置	町議会議員定数を減少する条例可決 (16↓14人) 開礎130年町制施行60年記念式典



長万部地方創生サミット

## 議会と町政 第200号までのあゆみ

平成15年10月 11月	町イメージキャラクター決定 新消防庁舎完成	平成17年3月	双葉小学校閉校 行財政改革等に関する調査特別委員会設置	平成18年10月	新幹線建設促進等に関する調査特別委員会設置	平成19年2月	町議会議員定数を減少する条例可決 (14人↓12人) 新幹線建設促進等調査特別委員会設置 ガス事業等調査特別委員会設置	平成20年1月	請願審査特別委員会設置	平成21年3月	共立小学校閉校 水産系廃棄物等調査特別委員会設置 経済活性化等調査特別委員会設置	平成22年3月	中の沢小学校閉校 請願審査特別委員会設置	平成23年1月	町議会議員定数を減少する条例可決 (12人↓10人) 議会改革等に関する調査特別委員会設置
9月	議会議員定数に関する調査特別委員会設置	3月	3月11日東日本大震災発生	9月	新さかえ保育所完成、子育て支援センター設置	12月	議員定数に関する調査特別委員会設置	7月	ガス事業等調査特別委員会設置	6月	水産系廃棄物等調査特別委員会設置	6月	請願審査特別委員会設置	11月	国保税率改正に関する特別委員会設置
10月	町イメージキャラクター決定	11月	新消防庁舎完成	12月	議員定数に関する調査特別委員会設置	12月	町議会議員定数を減少する条例可決	1月	請願審査特別委員会設置	3月	共立小学校閉校	3月	中の沢小学校閉校	1月	町議会議員定数を減少する条例可決

平成23年12月	新幹線建設促進等に関する調査特別委員会設置	平成24年8月	北海道新幹線新函館(仮称)・札幌間建設 工事起工式及び祝賀会開催	平成25年3月	請願審査特別委員会設置	平成26年3月	国縫小学校閉校	平成27年6月	まちづくり新幹線調査特別委員会設置 議会改革等に関する調査特別委員会設置	平成28年3月	北海道新幹線開業	平成29年3月	蕨岱駅及び北豊津駅廃駅	平成30年9月	9月6日胆振東部地震発生	令和元年6月	まちづくり新幹線調査特別委員会設置 議会だより第200号発行
12月	新幹線建設促進等に関する調査特別委員会設置	8月	北海道新幹線新函館(仮称)・札幌間建設工事起工式及び祝賀会開催	3月	請願審査特別委員会設置	3月	国縫小学校閉校	6月	まちづくり新幹線調査特別委員会設置	3月	北海道新幹線開業	3月	蕨岱駅及び北豊津駅廃駅	9月	9月6日胆振東部地震発生	6月	まちづくり新幹線調査特別委員会設置
12月	新幹線建設促進等に関する調査特別委員会設置	8月	北海道新幹線新函館(仮称)・札幌間建設工事起工式及び祝賀会開催	3月	請願審査特別委員会設置	3月	国縫小学校閉校	6月	まちづくり新幹線調査特別委員会設置	3月	北海道新幹線開業	3月	蕨岱駅及び北豊津駅廃駅	9月	9月6日胆振東部地震発生	6月	まちづくり新幹線調査特別委員会設置

# 歴代議会広報編集委員名簿

◎委員長 ○副委員長

## 昭和48年（創刊）

【任期】 S 48. 4. 3～S 49. 5. 2 ◎矢田正義 ○中兼敏春 高橋武治 竹内 宏 有賀初雄  
S 49. 5. 2～S 50. 4. 30 ◎矢田正義 ○中兼敏春 高橋武治 竹内 宏 長崎武志

## 昭和50年（改選）

【任期】 S 50. 5. 8～S 54. 4. 30 ◎原田松蔵 ○高森治光 竹内皎三 竹内 宏 佐藤 弘

## 昭和54年（改選）

【任期】 S 54. 5. 9～S 58. 4. 30 ◎木村正美 ○司馬菊正 竹内 宏 佐藤 弘 鶴羽清次郎

## 昭和58年（改選）

【任期】 S 58. 5. 10～S 58. 12. 22 ◎斎藤定生 ○小林清三 中兼敏春 笠原辰治 奈良岡兵治  
S 58. 12. 22～S 62. 4. 30 ◎斎藤定生 ○小林清三 中兼敏春 笠原辰治 鈴木宗雄

## 昭和62年（改選）

【任期】 S 62. 5. 18～H 3. 4. 30 ◎柳井利雄 ○木幡正志 菊田龍興 斎藤定生 小林清三  
佐藤 弘

## 平成3年（改選）

【任期】 H 3. 5. 17～H 7. 4. 30 ◎菊田龍興 ○小林清三 北川武雄 佐藤米光 木村正美  
佐藤 弘

## 平成7年（改選）

【任期】 H 7. 5. 11～H 11. 4. 30 ◎小林清三 ○北川武雄 原田松蔵 高森治光 菅野文夫  
神野武夫

## 平成11年（改選）

【任期】 H 11. 5. 13～H 13. 3. 21 ◎神野武夫 ○門間久男 七尾公夫 杉村直樹 金谷 功  
原田松蔵 角 健  
H 13. 3. 21～H 15. 4. 30 ◎神野武夫 ○金谷 功 七尾公夫 杉村直樹 長崎 厚  
辻 義雄 原田松蔵

## 平成15年（改選）

【任期】 H 15. 5. 13～H 18. 3. 14 ◎神野武夫 ○長崎 厚 原田松蔵 辻 義雄 柏倉恵里子  
H 18. 3. 23～H 18. 8. 8 ◎七尾公夫 ○柏倉恵里子 角 健 原田松蔵 高森治光  
H 18. 8. 8～H 19. 4. 30 ◎七尾公夫 ○柏倉恵里子 角 健 神野武夫 長崎 厚

## 平成19年（改選）

【任期】 H 19. 5. 11～H 23. 4. 30 ◎柏倉恵里子 ○金田知巳 杉村直樹 辻 義雄

## 平成23年（改選）

【任期】 H 23. 5. 12～H 27. 4. 30 ◎大谷敏弥 ○佐藤 馨 高森功治 柏倉恵里子

## 平成27年（改選）

【任期】 H 27. 5. 12～H 31. 4. 30 ◎高森功治 ○辻 紀樹 角 健 村川 毅

## 令和元年（改選）

【任期】 R 1. 5. 10～ ◎長崎 厚 ○高橋克英 橋本收司 北川佳嗣



令和元年

第2回

# 定例会

令和元年第2回定例会は、6月13日から18日までの6日間の会期で開かれました。

【6月13日】

木幡町長から行政報告が行われた後、条例の一部改正や補正予算等の審議をしました。

【6月18日】

一般質問に3人の議員が登壇し、町政に対しての所見を伺いました。

慎重に審議した結果、本定例会に提案された議案すべてを原案どおり可決し、閉会しました。



## 一般会計補正予算 6,745万5,000円

### 主な補正事業

- ◇海岸漂着物回収・処理業務委託事業
- ◇商工事業者経営改善等支援補助 など

### 補正予算

○令和元年度一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出にそれぞれ6,745万5千円を追加し、予算総額は49億5,309万7千円となりました。

歳入のおもな補正は、道支出金や繰入金の追加歳出のおもな補正は、海岸漂着物回収・処理業務委託事業や商工事業者経営改善等支援補助金などの追加です。

### 条例

○長万部町半島振興対策実施地域における固定資産税の不均一課税に関する条例

半島振興法に基づく長万部町産業振興促進計画の策定に伴い、事業者が事業のために用いる機械建物等を新設した際の固定資産税を3年間不均一

課税することができるよう条例を新たに定めました。

○特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部改正に伴い、投票管理者等の報酬額を引き上げられるため、条例の一部を改正しました。

○長万部町介護保険条例の一部を改正する条例  
介護保険法の一部改正に伴い、低所得者の第1号被保険者の保険料について、本年10月の消費税率10%への引き上げに合わせ、段階的に軽減強化を図るよう条例の一部を改正しました。

○長万部町火災予防条例の一部を改正する条例  
不正競争防止法等の一

部を改正する法律及び住  
宅用防災機器の設置及び  
維持に関する条例の制定  
に関する基準を定める省  
令の一部を改正する省令  
の公布に伴い、長万部町  
火災予防条例の文言の修  
正をするため、条例の一  
部を改正しました。

## 規約

○北海道町村議会議員公  
務災害補償等組合格約  
の変更

北海道町村議会議員公  
務災害補償等組合から、  
「池北三町行政事務組  
合」「日高地区交通災害共  
済組合」「十勝環境複合事  
務組合」「北空知葬斎組  
合」が脱退したことに伴  
う変更です。

○北海道市町村総合事務  
組合格約の変更  
北海道市町村総合事務  
組合から、「池北三町行政  
事務組合」「北空知葬斎組

合」「日高地区交通災害共  
済組合」が脱退したこと  
に伴う変更です。

○北海道市町村職員退職  
手当組合格約の変更

北海道市町村職員退職  
手当組合から、「池北三町  
行政事務組合」「北空知葬  
斎組合」「日高地区交通災  
害共済組合」が脱退した  
ことに伴う変更です。

## その他

○専決処分の承認

（令和元年度国民健康  
保険特別会計補正予算  
第1号）

平成30年度の歳出に対  
して歳入が不足となった  
ことから、地方自治法施  
行令第166条の2の規  
定により、令和元年度の  
歳入を平成30年度に繰上  
げて補填するための補正  
予算を地方自治法第17  
9条第1項の規定により  
専決処分しました。

歳入歳出にそれぞれ5  
476万8千円を追加し、  
予算総額は8億6922  
万4千円となりました。

○辺地総合整備計画の策  
定

町内宇蔵岱の知岱橋修  
繕にあたり、後年度交付  
税措置のある辺地対策事  
業債を申請するには、辺  
地の事情や施設の整備の  
方法、整備に要する経費、  
財源内訳等を事項とする  
辺地総合整備計画の策定  
が必要であり、この度、  
北海道との協議が整った  
ことにより策定しました。

○工事請負契約の締結

【契約目的】  
長万部町防災行政情報  
伝達システム整備事業  
デジタル同報無線シス  
テム整備工事  
【契約金額】  
2億6180万円  
【契約の相手方】  
札幌市 電気興業(株)北

海道支店

【工事概要】

- ・ 放送局1局
  - ・ 配信局3局
  - ・ 屋外拡声子局10局
  - ・ 防災ラジオ
- 3170台
- ・ 屋内アンテナ
- 150台

○財産の取得

【取得財産】

ロータリ除雪車

【取得金額】  
2832万5千円

【取得の相手方】

北海道石狩市 コマツ  
カスターマーサポート(株)  
北海道カンパニー



## 意見書を提出しました

意見書3件を原案どおり可決し、関係機関へ送付しました。

- ◇2020年度地方財政の充実・強化を求める意見書
- ◇2019年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
- ◇新たな過疎対策法の制定に関する意見書



# 町政を問う

## 一般質問とは

議員が町政全般にわたり、執行機関（町長・教育長など）に疑問点をただし、所見を伺うことです。



柏倉恵里子 議員

小学校のトイレ洋式化計画は ..... 11



大谷 敏弥 議員

高齢者の避難対策の課題は ..... 12



辻 紀樹 議員

長万部から小樽間の在来線について ..... 13

定例会2日目、3人の議員より一般質問が行われました。  
その内容を要約してお知らせします。

— 柏倉 恵里子 議員 —

## 小学校のトイレ洋式化計画は

(町長) 年内に学校側と検討する

**柏倉** 現在、長万部町の小学校では和式のままのトイレが多数あり、洋式を使用したい児童の人数とマッチングしていない。今は家庭のトイレも洋式が当たり前になり、和式トイレを見たことがない子ども達も多いと聞く。また、小学校は入学式から始まり、運動会や町民ふれあいオリンピック、学芸会、参観日、祖父母参観等児童以外の方が学校を訪れる機会も多く、高齢の方がトイレを使用する頻度も多いことから、洋式化を進める必要があると思う。町長の所信を伺う。

**町長** 長万部小学校は、明治11年に村落小学校として開校しており、昭和30年代には1400名あまりの児童が勉学に励んでいた。現在の校舎は昭和61年度に建築され、建築当時の児童数は659名であり、今年6月1日現在の児童数は198名と、建築当時の3分の1以下の人数となっている。長万部小学校トイレの洋式化工事については、平成25年度と平成26年度の2か年で10基洋式化し、校舎全体の児童用トイレの数を和式が18基、洋式が16基としている。階別の児童用トイレの内訳は、校舎1階部分は和式5基、洋式5基。校舎2階部分は和式5基、洋式5基。校舎3階部分では和式8基、洋式2基。体育館部分では洋式4基となっている。質問のとおり、各家庭での洋式トイレが当たり前になり、和式トイレに馴染みのない児童が増えているものと思う。また、トイレ洋式化工事から5年が経過しようとしており、洋式トイレを必要とする割合にも変化がある

と思うので洋式化について検討する。

**柏倉** 子ども達ばかりではなく、大人もあまり和式を使わない。和式がいくら空いていても、洋式の列に子ども達と並んでいる現状がある。



議会の会議録はホームページでご覧になれます

長万部町ホームページトップ → 町議会 → 会議録 からお入りください。

長万部町役場ホームページ

<http://www.town.oshamambe.lg.jp>

— 大谷 敏弥 議員 —

## 高齢者の避難対策の課題は

(町長) 各町内会に防災マスター(※)を派遣し  
自主防災組織を作っていただきたい

(※) 防災マスター 北海道から認定を受けた、地域防災活動の中心となる方

**大谷** いつどこで発生するか分からない大地震や災害で、体の不自由な住民や高齢者をどう避難させるか、要援護者や支援者の避難対策はどのような検討と対策が行われているか。また、要援護者や支援者等は把握しているのか。町内会との連携は考えているか。

**町長** 近年頻発する自然災害において、その犠牲者の多くが高齢者や障がい者などの要配慮者であり、中でも特に避難支援を要する「避難行動要支援者」に対する支援が防災対策上の課題となっている。

本町においては国の指針等を踏まえて、「長万部町避難行動要支援者避難支援計画」を策定し、対象者を把握するとともに避難支援体制については、町・消防本部・消防団・自主防災組織・自治会・福祉関係者などが連携して対応することとしている。

一方で、本町における自主防災組織率は4・3%と、渡島管内の平均56・6%を大きく下回る状況であり、大きな課題となっている。

災害発生時の避難支援は、本人及び家族による「自助」、自治会や自主防災組織等による「共助」が基本であり、普段から住民同士が顔が見える関係を構築し、避難支援等関係者の拡大を図ることが災害弱者を救う最大の対策となることから、各町内会などの協力をいただきながら、各種啓発活動を通じた防災意識の高揚を図るなど、発災時における支援体制の確立に向けた取り組みを進めていく。

**大谷** 本町における自主防災組織率が、渡島管内の平均を大きく下回る要因と対策は。

**町長** 現在、自主防災組織を持つている曙町内会と中ノ沢町内会、この2つの町内会で4・3%の数字である。できればほとんどの町内会に自主防災組織を持つていただきたい、先般、町内会連合会の総会でも話をさせていただいた。

平成29年には、長万部町内に防災マスターの資格を取得した51名がいる。消防団員、消防署員が多く、その防災マスターの資格者を各町内会に配置し、防災計画なり支援体制を取っていくのが一番だろうと思っている。

7月12日の防災の日に合わせて、防災の講演会を開催してそういった必要性を訴えながら、各町内会に防災マスターを派遣し、できれば早めに自主防災組織を作っていた



町営スキー場の避難路

ければと思っっている。災害がないことだが、いつ発生するか分からない。早急に検討し、実行していきたい。



# 長万部から小樽間の在来線について

## (町長) 第3セクター方式になると

### 年間高額の負担割合になるのではないかと

(※)第3セクター 国または地方公共団体と民間企業との共同出資によって設立された事業体

辻 新幹線開通までお

おむね10年となり、いよいよ本格的に事業が動き出してきたと実感している。長万部から小樽間の在来線については、協議団体が多いため、どのような形態となるのか結論が出るまで長期間を要するのではないかと。

そこで次の3点について質問する。

1、JR北海道より運営方法等は提案されているか。

2、沿線自治体との協議はされているか。

3、今後の町の取り組みは。

以上、町長の所見を伺う。

町長 1点目、長万部

から小樽間の在来線については、函館から長万部間とともに新幹線開業と同時にJR北海道から経営分離される。経営分離後の鉄道存続やバス転換の方向性や運営方法などは、沿線自治体と北海道が決定するものであることから、現在のところJR北海道から運営方法等の提案はない。

2点目、経営分離後の

代替交通機関について、北海道と沿線自治体で「北海道新幹線並行在来線対策協議会」を平成24年度に設置し、鉄道存続やバス転換について、新幹線開業の5年前をめど

に方向性を決定すること

として、現在、検討を進めている。

3点目、今後、並行在

来線の存廃により、長万部まちづくりアクションプランで提言のあった自由通路の位置や、駅前広場の設計に影響が生じるため、開業5年前にこだわらず、できる限り早期に並行在来線の存廃について方向性を決定すべきと考えている。

辻 どのような経営分

離の形態になるのか。

町長 後志ブロックでは、経営分離後に第3セクターとして運行するかどうかを協議中である。ただ関係町村が多く、そ

れぞれに形態や要件や状況が違う。将来的に、赤字覚悟で各自自治体が自ら資金提供をし運営をするのかどうか、この協議がまとまる可能性は非常に厳しい。特に長万部は、後志ブロックと渡島ブロック両方の会議に参加して議論しており、立場上非常に苦しいが、できるだけ速やかに結論を求めたい。

辻 第3セクターとい

うような話もあるが、運営に各町村どのくらいの負担が伴うか示されているのか。

町長 金額は出ていな

い。参考にするのは「いさりび鉄道」であるが、



函館本線 (黒松内方面)

第3セクター方式では、年間かなり高額な負担割合が各町に与えられるのではないかと。

辻 町民の理解が得ら

なければならないに進めない問題だ。今後、議会と相談するのは当然だが、例えば、国鉄OBや普段いろいろ勉強されている町民の意見を聞く機会を持つ考えは。

町長 町民の方々には

「まちづくり推進協議会」で関わりを持って、地方創生も含め議論していただいている。

7月か8月頃予定の沿線自治体の首長ブロック会議を発端とし、大きく動きだしてくる可能性が十分あると思う。その際は議会と相談し、まちづくり協議会でも議論いただく。町の将来の存廃をかけた大きな課題になるので、町民の意見をいただきたいながら丁寧に協議して決定したい。

## まちづくり・新幹線調査特別委員会を設置しました

国においては、人口減少に歯止めをかけ東京一極集中を是正し、将来に渡って活力ある日本社会を維持するための地方創生に関する総合戦略がまとめられ、この地方版総合戦略については、策定段階のみならず、その効果検証の段階においても議会で十分な審議を行うよう求められております。

本町においても、人口の減少と地域経済縮小の克服に主眼をおいた、長万部町創生総合戦略を策定してから5年目を迎え、その効果検証と新たな取組の策定時期を迎えることとなります。また、町の最上位計画として位置づけられている、長万部町まちづくり総合計画の策定や、都市計画の基本となる長万部都市計画マスタープランの見直し、2030年北海道



道新幹線長万部駅開業を見据えたまちづくりなど、将来に向けての重要課題が山積しており、まちづくり等の重要課題について調査するため、本特別委員会を設置しました。

委員長 柏倉 恵里子  
副委員長 辻 紀 樹



### 所管事務調査 (委員会が受け持っている調査内容)

第3回定例会（9月）までの各常任委員会及び議会運営委員会の所管事務等調査事項は次のとおりです。

#### 《総務常任委員会》

- ・防災事業 ・町税徴収対策 ・子ども子育て支援事業
- ・シャクシャインロード事業

#### 《産業建設常任委員会》

- ・農業振興 ・商工観光振興

#### 《議会運営委員会》

- ・議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項



# 委員会活動



## 議会運営委員会

5月10日

- ①委員長、副委員長の互選
- ②第2回定例会までの所管事務調査を協議
- ③議会運営に関する諸般について協議

6月10日

- ①第2回定例会の会期及び日程、提出される議案などの取扱い、第3回定例会までの所管事務調査について協議

6月13日

- ①第2回定例会の運営について協議

## 総務常任委員会

5月10日

- ①委員長、副委員長の互選
- ②第2回定例会までの所管事務調査を協議

6月10日

- ①財産管理  
旧国縫小学校敷地内国有地について協議
- ②第3回定例会までの所管事務調査を協議

## 議会広報編集特別委員会

5月10日

- ①委員長、副委員長の互選
- ②議会だより臨時号の発行について協議

6月18日

- ①議会だより第200号の編集について協議

## まちづくり・新幹線調査特別委員会

6月18日

- ①委員長、副委員長の互選

## 産業建設常任委員会

5月10日

- ①委員長、副委員長の互選
- ②第2回定例会までの所管事務調査を協議

6月4日

- ①町営住宅移転事業  
北海道新幹線延伸に伴う南部団地移転について調査（現地調査）



- ②第3回定例会までの所管事務調査を協議

# 議会のうごき

## 4月

- 1日 長万部町辞令交付式 議長
- 8日 長万部小学校入学式 各議員  
長万部中学校入学式 各議員  
長万部高等学校入学式 各議員
- 9日 東京理科大学長万部学寮入寮式 各議員  
全学懇親会 議長

## 5月

- 10日 第2回臨時会 全議員
- 19日 B & G海洋センター  
リニューアル式典 議長
- 20日 戦没者慰霊祭 議長
- 22日 長万部商工会通常総会 議長
- 27～29日 町村議会議長・副議長研修会  
(東京都) 副議長

- 28日 渡島総合開発期成会定期総会  
(函館市) 議長
- 29日 高齢者事業団定期総会 議長
- 31日 原水爆禁止国民平和行進来庁 議長
- 31日 長万部温泉利用協同組合通常総会 議長

## 6月

- 11日 北海道町村議会議長会定期総会  
(札幌市) 議長
- 25日 北海道町村議会議長会主催議員研  
修会(札幌市) 全議員
- 26日 長万部町議会議員研修会  
(石狩市、当別町) 全議員
- 29日 おしゃまんべ毛がにまつり 議長

## 議場のテレビ放映

役場1階ロビーで定例会、臨時会  
の様子を放映しています。



この広報紙は  
再生紙を使っ  
ています。

## お願い

議長宛ての案内などの文書は、  
議会事務局へ送付ください。

## 議会を傍聴してみませんか

次の定例会は9月です

署名をしないで傍聴することができますようにしました。



00号を迎えることとなりました。

この間、本町を取り巻く環境は著しく変化し、また、町民ニーズや価値観が多様化するなか、議会の果たす役割はより重要で複雑となっており、人口減少と少子高齢化、厳しい財政運営を強いられる状況で、私ども議員も町民のみなさまの信任に応えるべく、その与えられた権能を十分に発揮し、行政とともに車の両輪の一方として長万部町のまちづくりを進めてまいります。

今後も、町民のみなさまにわかりやすく愛される「議会だより」をお届けしてまいりますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。



議会広報編集  
特別委員会  
委員長 長崎 厚  
副委員長 高橋 克英  
委員 橋本 收司  
北川 佳嗣